

2005年2月4日

アントレ 大卒ホワイトカラー転職意向者の独立に関する調査

30代・40代の転職意向者の約60%が「独立意向」を持っている。

35歳を超えると「独立意向」は約65%まで増加する。

株式会社リクルート(本社:東京都中央区 代表取締役社長:柏木齊)の独立支援情報誌「アントレ」は、2004年12月、30代・40代大卒ホワイトカラーの転職活動経験者を対象に、「独立」に関する意識調査を実施しました。本調査では、転職や独立に関する意向、自身のキャリアやスキルに関する認識を中心に、調査を行っております。

調査結果の概要

<年代別の傾向>

34歳までの「独立意向」は約5割。35歳を超えると「独立意向」が約65%まで増加。やりたい仕事に今すぐ就けるなら「業務委託契約など契約型の仕事でもやりたいと思う」も年代と共に増加する。(P3)

35歳を超えると、「自分はプロだ」といえるスキルが「あると思う」が5割を超す。(P4)

<職種別の傾向>

「専門職」は、現実的な「独立準備段階」に入っている割合が約2割と最も高く、最も低いのは「営業職」で1割に満たない。しかし「営業職」は「独立したいと思っているが何もしていない」が約3割で他職種よりも高い。(P5)

「専門職」は、「自分はプロだ」といえるスキルがあると考える割合が約7割と高く、その一方、「事務職」・「営業職」は、その割合が約4割と低い。(P6)

<独立意向度別の傾向>

独立意向度が高い人ほど、「自分はプロだ」といえるスキルが「あると思う」と回答している割合が高く、自信を持っている傾向がある。(P7)

「独立準備をしている」人の約8割が、やりたい仕事に今すぐ就けるなら「業務委託契約など契約型の仕事でもやりたいと思う」(P7)

【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit.co.jp/corporate/support/inquiry_press.html

調査概要

調査期間 : 2004年11月30日 ~ 2004年12月1日
 調査対象(*1) : 首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)在住、30~50歳大卒ホワイトカラーで、
 現在転職活動中あるいは1年以内に転職活動した有職者1,610名(公務員を除く)
 調査方法 : インターネット調査
 有効回答数 : 1,030名
 集計対象数(*2) : 772名

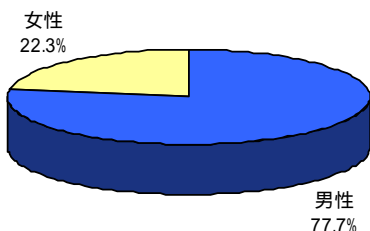
*1: 目標1,000サンプル(役職「部長・課長」で全サンプルの2割)となるように、1,610名に依頼。

	回答数	%
部長・課長	206	20.0%
部長・課長以外	824	80.0%
総計	1,030	100.0%

*2: 有効回答1,030名のうち、30~49歳の現在就業中の転職意向者の回答のみ集計。
 転職意向者とは「現在のあなたの転職活動についての状況をお知らせください」で、「現在、転職活動を行っている(求職中)」、
 あるいは「現在、転職活動をしたいと思っているが、何もしていない」と回答した人。

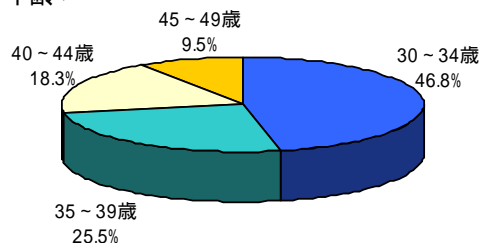
【集計対象者プロフィール】 N=772

< 性別 >



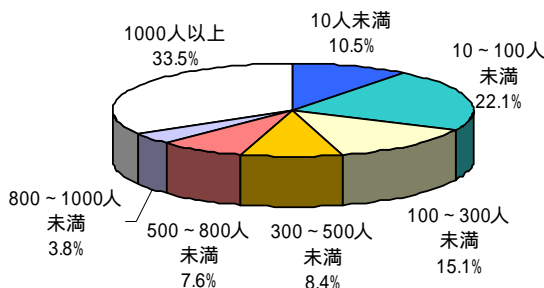
	回答数	%
男性	600	77.7
女性	172	22.3
総計	772	100.0

< 年齢 >



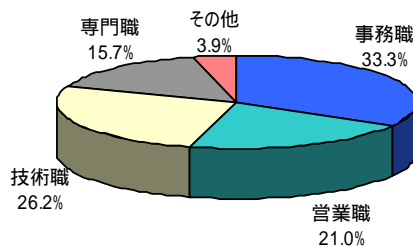
	回答数	%
30~34歳	361	46.8
35~39歳	197	25.5
40~44歳	141	18.3
45~49歳	73	9.5
総計	772	100.0

< 勤務先従業員数 >



	回答数	%
1000人以上	259	33.5
1000人未満	81	10.5
100~300人未満	102	13.2
10~100人未満	168	21.8
10人未満	58	7.5
500~800人未満	33	4.3
300~500人未満	71	9.2
800~1000人未満	29	3.8
総計	772	100.0

< 現在の職種 >



	回答数	%
事務職	257	33.3
営業職	162	21.0
技術職	202	26.2
専門職	121	15.7
その他	30	3.9
総計	772	100.0

1. 転職意向者の独立意向

30代・40代の転職意向者の60.3%に「独立意向」がある。

35歳を超えると、独立意向が高まる。

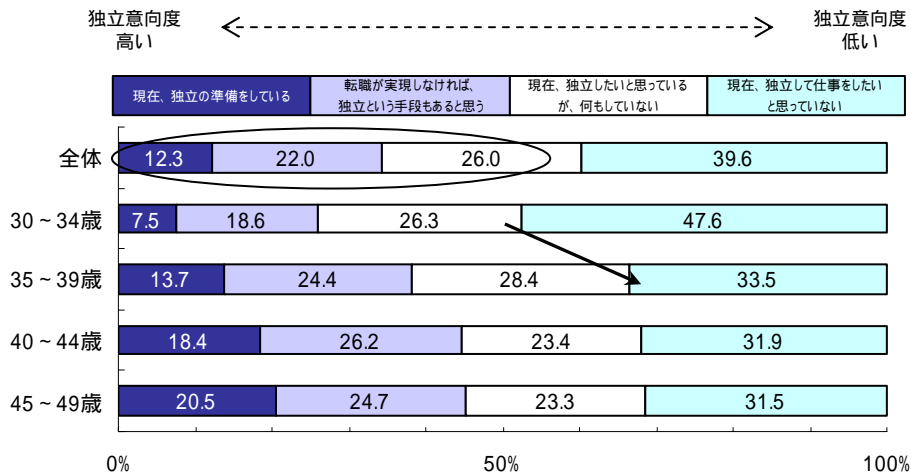
35歳を超えると、やりたい仕事に今すぐ就けるなら「業務委託契約など契約型の仕事でもやりたいと思う」が「やりたいと思わない」を上回る。

転職意向のある30～49歳の大卒ホワイトカラーの60.3%に独立意向がある（「現在、独立の準備をしている」12.3%、「転職が実現しなければ、独立という手段もあると思う」22.0%、「現在、独立したいと思っているが、何もしていない」26.0%）。

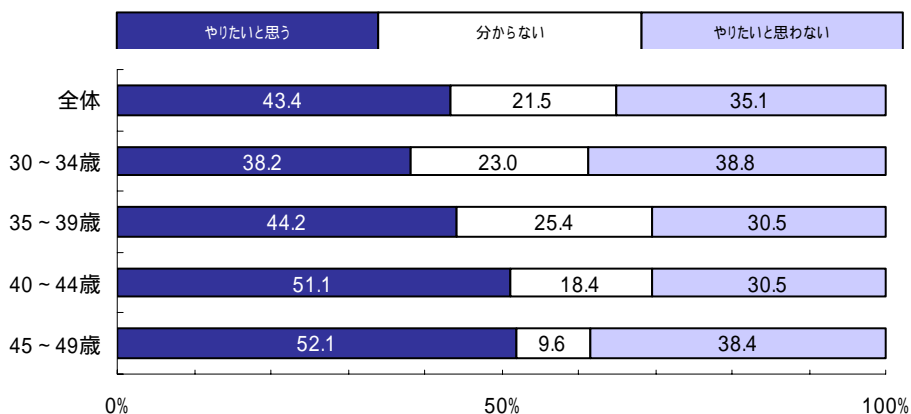
独立意向は、30～34歳では52.4%だが、35～39歳では66.5%に急増する。

また、「やりたい仕事に今すぐ就けるなら、業務委託契約など契約型の仕事でもやりたい」と思うかについても、30～34歳では「やりたいと思わない」割合（38.8%）の方が多くが、35歳を境に「やりたいと思う」割合の方が多くなる。

Q.現在、独立して仕事をしたいと思うか（全員 N=772・単一回答）



Q.やりたい仕事に今すぐ就けるなら、業務委託契約など契約型の仕事でもやりたいと思うか（全員 N=772・単一回答）



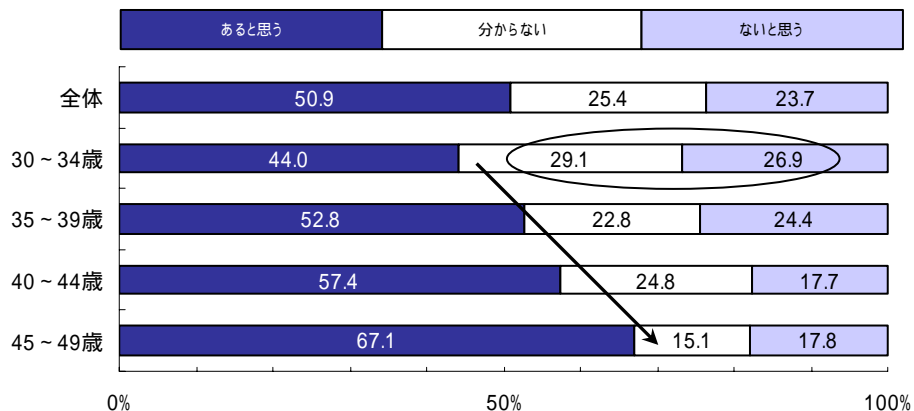
2. 転職意向者のスキルへの自信

35歳を超えると、「自分はプロだ」といえるスキルが「あると思う」が過半数。

一方、30～34歳は、「分からない」・「ないと思う」が56.0%と過半数。

何らかの分野で「自分は のプロだ」といえるスキルが「あると思う」と回答した比率は、30～34歳で44.0%に対し、35～39歳では52.8%、40～44歳では57.4%、45～49歳では67.1%と、35歳を超えるとスキルに自信がある人が半数を超える。

Q.何らかの分野で「自分は のプロだ」といえるスキルがあるか (全員 N=772・単一回答)



3. 職種別にみる転職意向者の独立意向

「独立意向」が最も高い職種は、「専門職」で71.9%

「営業職」は、「独立したいと思っているが、何もしていない」が他職種よりも高く34.0%

やりたい仕事に今すぐ就けるなら「業務委託など契約型の仕事でもやりたいと思う」が最も高いのは、「専門職」で55.4%

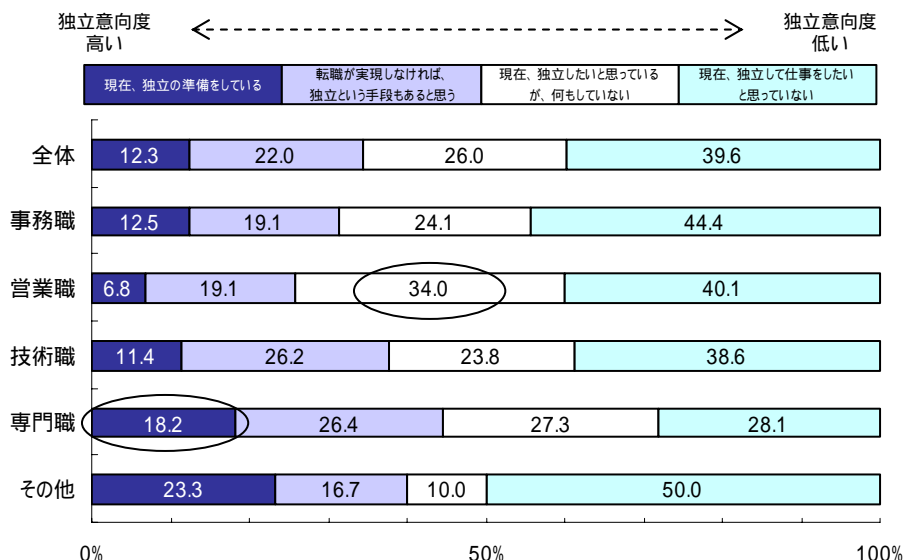
一方、「やりたいと思う」が最も低いのは、「営業職」で35.8%

独立意向が最も高い職種は「専門職」で71.9%（「現在、独立の準備をしている」18.2%、「転職が実現しなければ、独立という手段もあると思う」26.4%、「現在、独立したいと思っているが、何もしていない」27.3%）。

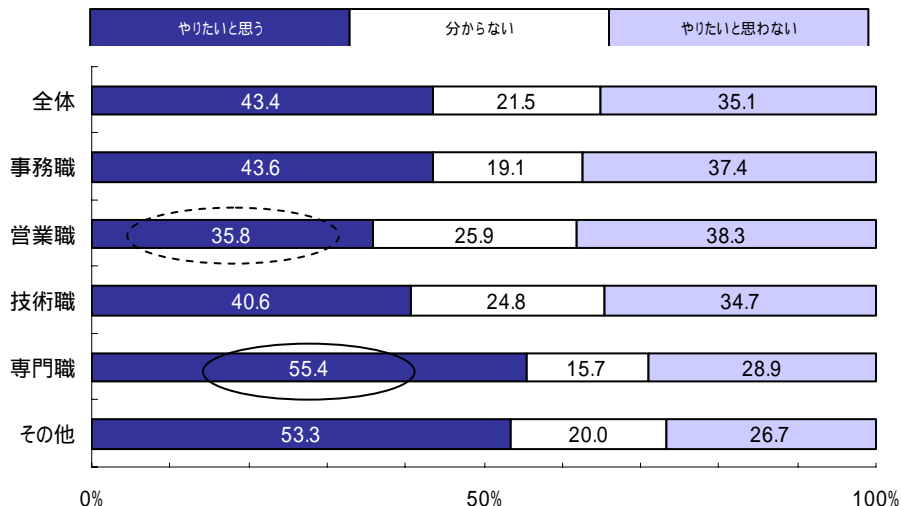
「現在、独立の準備をしている」の回答比率が最も高いのも「専門職」で18.2%。一方、最も低いのは「営業職」で6.8%だが、「営業職」は、「独立したいと思っているが、何もしていない」の回答比率が他職種よりも高い(34.0%)。

また、「やりたい仕事に今すぐ就けるなら、業務委託契約など契約型の仕事でもやりたい」と思う比率も、最も高かったのが「専門職」で55.4%、最も低かったのは「営業職」で35.8%。

Q.現在、独立して仕事をしたいと思うか (全員 N=772・単一回答)



Q.やりたい仕事に今すぐ就けるなら、業務委託契約など契約型の仕事でもやりたいと思うか (全員 N=772・単一回答)

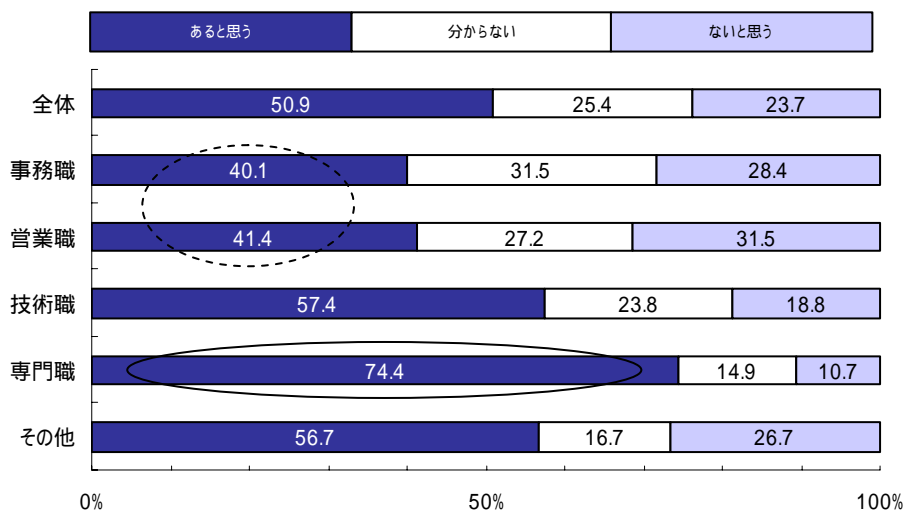


4. 職種別にみる転職意向者のスキルへの自信

「自分はプロだ」といえるスキルが「あると思う」職種は、「専門職」が最も高く74.4%。
一方、「営業職」・「事務職」は約4割と低い。

何らかの分野で「自分は のプロだ」といえるスキルが「あると思う」と回答した比率は、「専門職」(74.4%)が最も高く、「事務職」(40.1%)・「営業職」(41.4%)が低い。「事務職」・「営業職」の自信の低さがうかがえる。

Q.何らかの分野で「自分は のプロだ」といえるスキルがあるか (全員 N=772・単一回答)



5. 独立意向者のスキルへの自信 / 業務委託への意向

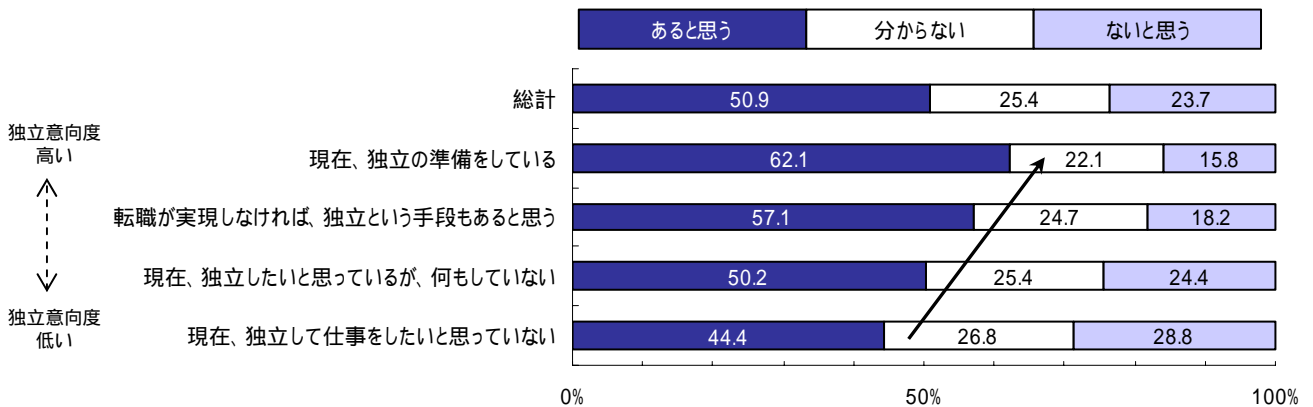
「自分はプロだ」といえるスキルが「あると思う」割合は、独立意向度に比例して高まる。

「独立準備をしている」人の約8割が、やりたい仕事に今すぐ就けるなら「業務委託契約など契約型の仕事でもやりたいと思う」と回答。

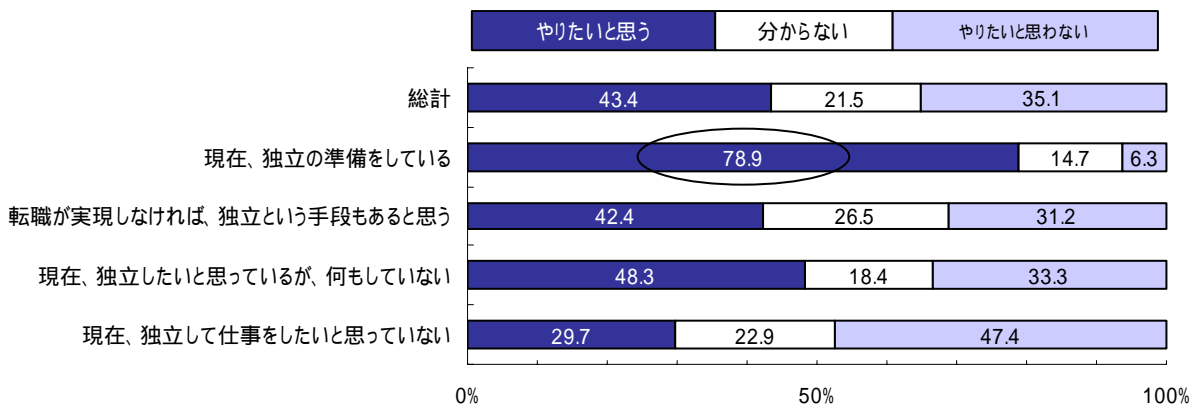
何らかの分野で「自分は のプロだ」といえるスキルが「あると思う」と回答した比率が最も高いのは「現在、独立の準備をしている」(62.1%)に対し、最も低いのは「現在、独立して仕事をしたいと思っていない」(44.4%)。スキルへの自信は、独立意向度に比例して高まる。

また、「現在、独立の準備をしている」独立意向度の高い人は、「やりたい仕事に今すぐ就けるなら、業務委託契約など契約型の仕事でもやりたい」と思う比率が高く、78.9%に達する。

Q.何らかの分野で「自分は のプロだ」といえるスキルがあるか (全員 N=772・単一回答)



Q.やりたい仕事に今すぐ就けるなら、業務委託契約など契約型の仕事でもやりたいと思うか (全員 N=772・単一回答)



参考資料

企業向け調査:「個人への業務委託」導入に関する実態調査

株式会社リクルート(本社:東京都中央区 代表取締役社長:柏木斉)の独立支援情報誌『アントレ』は、2004年12月、首都圏の企業を対象に、「個人への業務委託」導入に関する実態調査を実施しました。

- 3社に1社が、外部の個人への業務委託を導入している
- 業務委託を導入している職種は、「営業職」、「専門職」、「技術職」が多い

調査概要

- 調査期間 :2004年12月
- 調査対象 :首都圏の従業員数500名以下のリクルート求人媒体利用会社から無作為に抽出した1,000社
- 調査方法 :電話調査
- 有効回答数 :282社

回答者プロフィール

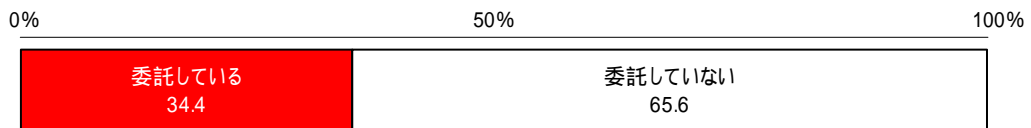
<従業員数>

	構成比	回答数
10人未満	4.6%	(13)
10~100人未満	17.4%	(49)
100~300人未満	50.0%	(141)
300~500人未満	27.3%	(77)
500~800人未満	0.7%	(2)

<業種>

	構成比	回答数
農林水産業	-	(0)
コンピュータ関連業	10.6%	(30)
ファッション関連業	5.3%	(15)
自動車・運輸・倉庫関連業	3.2%	(9)
建築・土木・住宅関連業	10.3%	(29)
電気・電子・機械関連業	7.1%	(20)
その他製造業	13.5%	(38)
商社・小売・専門店	17.0%	(48)
銀行・証券・保険	2.8%	(8)
人材紹介・派遣	1.4%	(4)
レジャー・フード	5.3%	(15)
広告・出版・印刷・放送	4.6%	(13)
その他サービス	18.8%	(53)

Q.社外の個人に業務委託しているか (全企業 N=282・単一回答)



Q.社外の個人に業務委託している職種 (業務委託している企業のみ N=97・単一回答)

